



東陽の旋風かぜ ～自律協働貢献～

令和6年7月19日（金）No 16 発行
文責：松本 卓也

石工の文化に学ぶ ～「東陽学」スタート！～

総合的な学習の時間を、今年度から「東陽学」として大幅にリニューアルしました。①伝統文化、②生き方、③石工の文化、④町づくりの4つの単元から構成し、東陽町に関する学習を深めることで「地域とともにある学校づくり」、「地域に貢献する人材の育成」を目指します。その一環として、先月27日（木）から『石工の文化に学ぶ』単元を始めました。



目的は

東陽の歴史や地域の魅力に着目し、石工の活躍を中心に学習したことをボランティアガイドの取組に生かすことです。

今年度のボランティアガイドは総勢30名、新規加入の1・2年生は12名です。ボランティアガイドデビューに向け、資料の作成、ガイドの練習を、これまで2回行いました。さまざまな場面で、2・3年生が経験を踏まえて優しくアドバイスしてくれました。昨日のフィールドワークでは、緊張しながらも、石橋やひねり灯籠の特徴や由来、石工の人となりやわかりやすくガイドしてくれました。子どもたちの感想には、「緊張して声が小さかったので、もっと大きくしたい。」「内容を覚えていたり、突然の質問に答えたりしていて、先輩はすごいなあと思った。」等、今後の課題を挙げていました。『改めて東陽町はすごい町なんだと思った。もっと賑やかな町にしていきたい。』卒業生が、去年のしょうが祭でのガイドを終えた後に述べた感想です。後輩たちが先輩の思いを受け継ぎ、ふるさとへの愛着や誇りを抱いてほしいと願っています。



中学生が教えてくれて、よくわかりました！

10日（水）、東陽小学校で小中合同の「toyo 寺子屋（全員学習会）」を行いました。兄妹、姉弟で学び合う場面も見られる等、楽しそうに学習を行っていました。学習会の最後には、「中学生が教えてくれて、よくわかりました！」とのお礼の言葉があり、中学生も嬉しそうでした。今後、東陽小学校の先生方と9年間を見通した学習指導、学習支援を行ってまいります。



豊かで安心して暮らせる未来のために

16日（火）、南九州税理士会八代支部からH講師をお招きして、租税教室を実施しました。日本には、およそ50種類の税金があることや国債の発行、納税の義務等、社会を維持し発展させていくために税金があることをわかりやすく説明していただきました。クイズやレプリカ1億円体験を通して、子どもたちも楽しく税について学ぶことができました。H様、ありがとうございました。



【編集後記】学校ではできない出会いや学びを夏休みに！

▼早いもので、今日で1学期が終了です。学習（前期中間考査）や運動（小中合同運動会・中体連）はもちろん、生徒総会やボランティアガイド等の特別活動にも子どもたちは本当によく頑張ってくれました。▼また、普段の何気ない行動（掃除を黙々と頑張る姿、困っている人にさりげなく声を掛ける姿）にも優しさや温もりが感じられ、その全てが素敵な東陽中を創っていることに誇りを感じます。▼明日からの夏休みは、子どもたちは家庭や地域で生活することになります。家族とゆっくり過ごす、家の仕事を手伝う、興味のあることに没頭する、読書に励む等々、心身を成長させる体験や学びがたまたまにできます。学校ではできない出会いや学びを、この37日間では存分に楽しんでください。▼保護者の皆様、地域の皆様、子どもたちが「命を守る」こと、何よりも大切にしてほしいです。▼保護者の皆様、子どもたちが安全・安心な生活ができますよう、見守りをよろしくお祈りします。8月26日（月）、一段と成長した姿に会えることを楽しみにしています。



やる気スイッチをON!!

夏休みは、自ら学ぶ態度を育てるのに絶好の機会です。「①計画を立て、決めた時間に学習する→②成果と課題を次の計画に生かす」これを繰り返すことで、習慣になります。定着を促すため、2種類の課題（ステージA：全員提出、ステージB：自由提出）を準備しました。テストのための学習から自ら学ぶ学習へ！子どもたちの意識改革を目指します。

※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）